

PROが
オススメ!
実験レポ

ミヤナガさん!

コアドリルの選び方と 使い方のコツを教えてください!

穴あけ時間の目安
コンクリートの厚み
10cm(鉄筋なし)
●乾式:10~15分
●湿式:7~8分

電動工具と固定する軸の部分をシャンクと呼びます。ミヤナガのコアドリルには「ストレート用」と「SDS用」があります。まずお手持ちの電動工具がどちらに対応しているかを確認してください。

ストレートシャンクは主に振動ドリル、SDSシャンクはハンマードリルで多く使用されています。

見た目では、こんな感じの違いがあります。

また、コアドリルは水を使わない「乾式」と、水をかけながら刃先を冷やして掘り進む「湿式」があります。

それでは、実際に使ってみましょう! まずは乾式ドライモンドコアドリルから。

これくらいちょっと掘り進んだらセンターピンを抜くのもお忘れなく。

電気ドリルにしっかり体重をかけて掘る!

水を使っていないので、コンクリートの粉が結構飛びます。風の強い日は特につらい…ので

切粉が!
飛ぶ飛ぶ!!



切粉をすぐに
すいこんじゃう!

集塵パッドの併用をおすすめしています。ほらこの通り!



でも、やっぱり乾式は体力が必要です…。
(この日は、いいお天気だったので汗だく。)
集塵機と電気ドリルは別電源から取った方が、
電気ドリルのパワーを維持できます。

集塵機のホースが短くて届かないときは、
洗濯機用排水ホースで延長できます!

ストレートタイプ



(電動工具側)

(コアドリル側)

SDSタイプ



(電動工具側)

(コアドリル側)

次に湿式のウェットモンドコアドリルで同じ作業を行ってみましょう。途中でセンターピンを抜くのは同じ。

水が
飞ばしゃ!



(ここで皆、逃げました。)

水の量としては、コア1本につきペットボトル1本くらいのものなんですけど、回転力にのって水が飛び散ります。まわりも水浸しになっていくので…

やっぱりここでも、集塵パッドをおすすめしたいです。

作業後の清掃も楽になります。
乾湿両用の集じん機をお持ちであれば、ぜひ。

ごくごく
吸い込む!



そしてやっぱり、湿式のほうが掘り進むスピードが格段に速い! この日は倍速近い差に感じました。

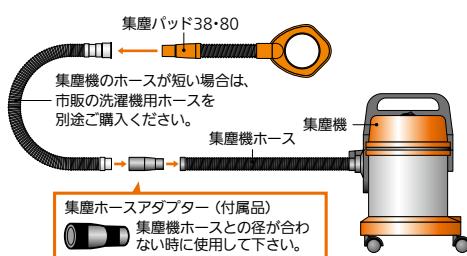
もちろん乾式の方が手軽ですが、湿式のほうが摩擦が起きにくいぶん、刃の持ちもイイ。メーカーとしては、湿式のほうをおすすめしつつ、使用頻度などによっては乾式もご検討いただければと思います。

コアドリルの粉塵を、飛散する前に吸いとる!



ミヤナガ 集塵パッド

商品コード	品名	品番	価格
243-0605	集塵パッド80	SJP080	1本 8,700円(税抜き)
243-0604	集塵パッド38	SJP038	1本 6,900円(税抜き)



- パリアフリー
- 金物
- 収納・内装
- 建築資材
- 水まわり
- 防犯
- 耐震・防災
- ペット用品
- 接着・テープ・清掃・補修

道具・工具

- お役立ちコナー
- 豆知識
- ご利用方法